

平成24年度 地域子育てサポートチーム養成研修地区別研修B(県北)

日時 平成24年10月12日(金) 場所 福島県男女共生センター

福島県教育委員会では、子育て力の向上に向けた取組みや子育て不安や悩みを抱える保護者等の支援をするため、子育て・家庭教育支援に携わる地域の人材を養成することを目的として、「地域子育てサポート養成事業」を実施しました。研修期間は3日間です。

これまで、1日目は6月30日に全体研修として郡山市の県農業総合センターで実施しました。(221名受講) 2日目は7月20日に地区別研修A(県北)として福島市中町ビルで実施しました。受講者は、31名でした。そして、3日目は地区別研修B(県北)として二本松市の県男女共生センターで実施しました。受講者は、33名でした。3日目の様子を紹介します。

講義 「発達障がいの理解と支援」について

講師：福島県養護教育センター 菅野和彦 氏



発達障がいの具体的な内容(高機能自閉症、ADHD、LD、アスペルガー症候群など)とそれぞれの特徴、そして、そうした子どもへの対応の仕方について具体的に学びました。なにより、障がいのある子どもも含めて、「地域で共に学び、共に生きる教育」(インクルーシブ教育)の大切さを学びました。

講義・演習 「求められる子育て支援～子育てサポートチームに期待すること～」

講師：郡山女子大学短期大学部幼児教育学科准教授 滝田良子 氏



子育ての現状として…母親の孤立化、子育ての悩みや不安の増加、母親一人の抱え込み、児童虐待の増加 など

↓
こうした現状・課題を解決するためにきめの細かい支援の必要性がある。具体的には、虐待の連鎖を断ち切るための支援、家族の問題を抱えた家庭への支援、障がいを持っている子の家庭への支援、外国出身者への支援など。これらの支援をしていくために今後子育てサポートチームは大いに期待される。

実践発表

講師：郡山わらべうたであそぼうの会 代表 古澤政子 氏



郡山わらべうたであそぼうの会は、わらべうたを親子で歌ったり、踊ったり、身体表現したりすることで、楽しい子育てをお母さんやお父さんに勧めています。

この日の講座でも数え歌や「おんまさん」などを披露し、童歌に合わせてリズムをとるなどして参加者みんなで楽しみました。

今後の活動に向けて

今回の3日間の講義を受講終了した方には、受講修了証を配付いたしました。受講生の多くは、これまでも各地域で子育て支援を行っている方がほとんどですが、今後は、「子育てサポーター」として、各地域での活躍を期待したいと思います。